

3年ぶりの一般公開！大河ドラマで話題の紫式部ゆかりの地

大徳寺 塔頭「真珠庵」

臨済宗大本山大徳寺の塔頭真珠庵は、とんちで有名な一休さん、一休宗純和尚を開祖として一休和尚が亡くなった10年後の延徳3年（1491）に堺の豪商、尾和宗臨によって建てられました。大徳寺中興の祖である一休宗純ゆかりの寺院であることから、大徳寺において特別な位置を占めます。2018年、約400年ぶりに新調された方丈襖絵は『釣りバカ日誌』で有名な漫画家北見けんいち氏、ゲーム「ファイナルファンタジー」のアートディレクターを務めた上国料勇氏をはじめとした現代の日本文化を象徴する分野で活躍する作家が描きました。また今回、17世紀の作品である『源氏物語図屏風』が初公開。真珠庵境内には紫式部の産湯として使用したと伝わる井戸が現存しており、紫式部ゆかりの地としても有名です。



方丈障壁画『楽園』 漫画家 北見けんいち氏の作品



真珠庵 表門

公開期間 : 2024年9月20日（金）～12月8日（日）
休止日 : 10月21日（月）、11月24日（日）～26日（火）
拝観時間 : 9:30～15:30（受付終了）
拝観料 : 大人2,000円・高校生1,000円・小中学生500円（保護者同伴）
特別公開 :

- 【重要文化財】本堂、現代作家が描く方丈襖絵
- 【重要文化財】書院 通僊院（つうせんいん）
- 【重要文化財】茶室 庭玉軒（ていぎょくけん）
- 【史跡名勝】方丈東庭「七五三の庭」、通僊院庭園
- 【特別展示】『源氏物語図屏風』

初公開！『源氏物語図屏風』



初公開『源氏物語図屏風』（左隻）



初公開『源氏物語図屏風』（右隻）

17世紀の作。樹木などに見られる筆触を生かした描法は狩野派的である一方、人物描写には土佐派的な要素も認められ、両者の画風を折衷したような町絵師特有の様式を見せます。



書院「通僊院」と茶室「庭玉軒」

1638年に正親町天皇の女御の化粧殿（けわいどの）を移築したもので、通僊院と称せられています。戦国時代の医師、御典医の半井瑞策が拝領し、真珠庵に寄進したものです。



土佐光起『花鳥図』東面



村田珠光「七五三の庭」

国の名勝および史跡に指定されている方丈東庭は、通称「七五三の庭」と呼ばれる。一休宗純に参禅した侘び茶の祖、村田珠光の作庭と伝わります。

【報道関係者様のお問い合わせ先】

株式会社京都春秋 広報 八田（ハッタ）

Email : y-hatta@kyotoshunju.co.jp Mobile : 080 - 7633 - 8259

PR素材をご使用の際は必ず上記担当者に一報の上、ダウンロードください。

【特別公開 運営に関するお問い合わせ】

株式会社 京都春秋

TEL : 075-231-7015 FAX : 075-231-6420 Email : info@kyotoshunju.com HP : <https://kyotoshunju.com>